

【 「うた乃」の育苗(二次育苗) 】～9月中下旬の管理～

花芽分化の時期を迎えました。今年は9月に入ってから長引く秋雨前線の影響で朝晩が涼しくなっており、ここ数年の中では分化が早くなりました。一方、時に急に晴れたり、気温が高くなることもありますのでしおれさせないように注意が必要です。分化後しばらく定植できない場合は、液肥施用を継続し肥料切れさせないように管理してください。

以下、農業研究所での栽培管理を記載します。

「うた乃」は、窒素中断は基本的に不要です。9月9日に葉柄中硝酸イオン濃度が約 300mg/l に下がったため液肥施用を開始しましたが、花芽分化が始まっていたため、分化が揃ったのを確認した上で9月15日と17日に定植しました。

定植は株間 20cm で、株を通路側に傾けて定植を行っています。そうすることで頂花房が通路側に出やすくなります。

定植後は EC 約 0.4mS/cm で管理を行っています。初期生育が旺盛になりすぎると乱形果の発生にもつながりますので注意してください。

【参考】

農業研究所の本圃定植後（9月15日）の様子（9cmポット二次育苗苗）



施肥 : 養液土耕6号 給液 EC : 約 0.4mS/cm 排液 EC : 約 0.35mS/cm

給液量 : 株あたり約 130ml (2分×2回)

ビニール : 張りっぱなし

遮光ネット : なし

分化開始頃(9月9日)の生育状況

草丈 : 20.6cm、クラウン径 : 7mm、葉柄中硝酸イオン濃度 : 約 300mg/l